

104-270

問題文

この患者におけるグレープフルーツジュース中の原因物質とニソルジピンの相互作用について、発現機序と考えられるのはどれか。1つ選べ。

1. 小腸CYP3A4に対する競合阻害
2. 小腸CYP3A4に対する共有結合による不可逆的阻害
3. 肝臓CYP3A4に対する競合阻害
4. 核内受容体を介した小腸CYP3A4の誘導
5. 小腸P-糖タンパク質に対する競合阻害

解答

問270 : 1, 3問271 : 2

解説

問270

ニソルジピンは、ジヒドロピリジン系 Ca 拮抗薬です。CYP3A4 で代謝されます。グレープフルーツジュース（以下 GFJ と略）により、CYP3A4 が阻害されるため、血中濃度が高くなり、副作用が出やすくなる可能性が考えられます。

選択肢 1 は妥当な記述です。

選択肢 2,3 ですが

服用中止の指導はできません。めまいやふらつきの評価も含め、医師の判断をあおぐことが適切と考えられます。よって、選択肢 2 は誤りです。選択肢 3 は妥当な記述と考えられます。

選択肢 4 ですが

ベニジピンも CYP3A4 代謝なので、意味がない提案と考えられます。よって、選択肢 4 は誤りです。

以上より、問270 の正解は 2,3 です。

問271

グレープフルーツジュースによる阻害は「不可逆的阻害」です。摂取を中止しても、阻害効果が数日継続することが知られています。

以上より、問271 の正解は 2 です。